

国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	エンデラン大学（オンライン）2024 年夏季
オンラインプログラムを選択した理由、参加目的について記載してください。（100～200 字程度）	
夏休み期間に留学をしたかったが、就職活動のため断念していた。しかし、夏休み期間中にどうしても英語を学ぶ機会を得たかったため、オンラインプログラムを選択した。主な参加目的は、英語を流暢に話せるようになりたいからである。また、英語を英語のまま理解できるようになりたいからである。	
プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。（200～300 字程度）	
約3週間のオンライン留学で学んだことは2つある。1つ目は、英語の発音である。午前中の授業の3時間のうち発音とアクセントの授業が1時間ある。中々発音とアクセントに特化した授業はないので、それを3週間受け続けたおかげで、発音が上達した。特に、日本人が苦手とするRとLの発音の違いがわかるようになった。2つ目は、日本語から英語に訳すスピードである。午前中の授業のスタイルは、先生1人と生徒1人のマンツーマンである。なので、常に発言権が自分にあるため、自分の伝えたいことを頭で英訳しなければならない。始めは大変であったが、だんだんと慣れていき、脳内で行われる英訳のスピードが早くなった。	
オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。（200～300 字程度）	
まず、メリットは3つある。1つ目は、自分の好きな場所で受けることができることである。2つ目は、午前中の授業でマンツーマンの指導を受けることができることである。1人の先生を約3時間独占でき、自分のタイミングで先生に質問することができる。3つ目は、授業の予定を変更できることである。私の場合、就職活動のために5日間休まなければならなかったのだが、別の日に補講授業として、休んだ分の授業を受けることができた。次にデメリットは、通信環境の問題である。私の場合であるが、フィリピンまたはエンデラン大学の通信環境が悪いのか、どんなに日本のネット環境が良くても、先生の声が途切れることが毎日あった。	
オンライン授業への臨み方（時差・コミュニケーション）としてモチベーションアップ等に役立ったことを記載してください。（200～300 字程度）	
私のモチベーションは2つある。1つ目は、洋画を積極的に観ることである。洋画を観ることは、私の趣味の1つであるが、毎日観ることで英語をたくさん聞くことができる。また、実際に毎日の授業のおかげで少しずつではあるものの、聞き取れる英単語や英文が着実に増えてくるので、自分の成長を実感することができ、英語を学ぶ意欲がより湧いてくる。2つ目は、海外の配信者のストリームやアーカイブを見ることである。彼らは、よく雑談配信をしており、アーカイブだとYouTubeの自動字幕となってしまうが、英字幕を見ながら彼らの話を聞くことができる。ネイティブの話すリアルなスピードで英語を聞くことができ、英語の聞き取りの練習に適している。	
今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。（250～300 字程度）	
プログラム参加前の目標は、とにかく英語に慣れ親しむことと間違いを恐れずに積極的に英語をたくさん話すことであった。そして、今回のオンライン留学を通して、英語を聞いたり話したりすることに抵抗がなくなり、また、授業を重ねるごとに拙いながらも英語をたくさん話すことができ、3週間前の自分と比べて大きな成長を実感した。なので、今後の目標は、この英語に慣れ親しんだ感覚を忘れないようにすることだ。そのために、日常の中でYouTube、洋楽や洋画などを通して、より耳で英語を慣れさせたいと考える。また、自分でふと考えたことや独り言を、書いたり、言ったりと英語で表現する練習をしたいと考える。	
【注意事項】提出された報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします（学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません）。	

国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	エンデラン大学 オンラインプログラム
オンラインプログラムを選択した理由、参加目的について記載してください。(100～200 字程度)	
オンラインプログラムに参加した目的は2点ある。1点目は、コストを抑えることができるから。2点目は、発話に重点を置いたプログラムであるため、短期間での英語力向上が期待できると考えたからだ。また、参加することによって「日常英会話には支障が出ないレベルにまで引き上げること。」、そして仮にそれが叶わなかったとしても「最低でも英語発話への苦手意識を取り除くこと。」を目標に定めた。	
プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(200～300 字程度)	
このプログラムでは、午前3時間のマンツーマンレッスン、午後2時間のグループレッスンを行った。午前中の授業では、レベルの高い講師の方から、英語の発音矯正に重点を置いた発話の授業をみっちり3時間教わった。フィリピンの大学のオンラインプログラムであるが、講師の方はアメリカ英語に精通しており、英語の訛りがなかったため安心してレベルの高い授業を受けることができた。 また、午前と午後の授業を通して日常のトピックから様々な社会問題にいたるまで議論を行うため、英語で議論をする力と共に、あらゆる諸問題についても意見を持つことができるようになったと感じている。	
オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(200～300 字程度)	
メリット…低コストでレベルの高い授業を受けることができる点である。また、家で一人で授業を受けるため、他の日本人生徒と接する機会がない。そのため、現地で授業を受ける場合よりも授業時間内において、他の生徒と日本語を話す機会がなく、プログラム中は英語にのみ集中できるという点も、オンラインプログラムのメリットであると感じた。 デメリット…やはりオンラインである以上、通信環境に左右される点である。実際、フィリピン現地が雨だった場合、講師の方の通信環境が悪化し、授業が止まってしまうことが何度あった。	
オンライン授業への臨み方（時差・コミュニケーション）としてモチベーションアップ等に役立ったことを記載してください。(200～300 字程度)	
文法を間違ったり、使いたい単語が出てこなかったとしても、講師の方が優しくフォローして下さるので、英語の発話に自信がなくても億劫になることはなかった。とにかく、シャイにならずに積極的にコミュニケーションを取ることを意識していた。しかし、やはり伝えたくても伝わらないことが最初の方はあったため、授業後の復習は欠かさず行っていた。また、少しでも語彙力を増やすために、期間中は英文法をもう一度復習したり、英単語の学習を毎日100単語ずつ行っていた。毎日行う英会話との相乗効果で、かなり英語力が向上したと感じている。	
今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250～300 字程度)	
来年から就職する一環として、全体的な英語力の向上を図りたいと考え、今回のプログラムに参加した。プログラムを通して英語発話の地盤を築くことができたと考えているため、これからはビジネス英語を含めたさらに発展的な英語を習得することができるように、この3週間を無駄にすることなく英語学習に励んでいきたい。 また、外国の方と様々なことについて議論することの楽しさを実感することもできたため、海外旅行や外国の人と関わるができるプログラムがあれば、積極的に参加していきたいと考えている。そして最終的には来年以降、世界で通用するレベルまで英語力を引き上げていきたい。	
【注意事項】提出された報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします（学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません）。	